



平成 26 年 5 月 7 日

各 位

株 式 会 社 イ ナ リ サ ー チ
 代 表 取 締 役 社 長 中 川 賢 司
 (コード番号：2176)
 問 い 合 せ 先: 執 行 役 員 総 務 部 長 野 竹 文 彦
 電 話 番 号 0 2 6 5 (7 3) 6 6 4 7

業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 26 年 2 月 12 日に公表した業績予想及び配当予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正

(1) 平成 26 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正(平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株あたり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 2,650	百万円 74	百万円 37	百万円 20	円 銭 6.91
今回修正予想(B)	2,778	66	49	70	23.49
増減額(B-A)	128	△8	12	49	-
増減率(%)	4.8	△11.1	32.9	239.7	-
(ご参考) 前期実績(平成 25 年 3 月期)	2,891	10	△19	△6	△2.14

(2) 平成 26 年 3 月期通期個別業績予想数値の修正(平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株あたり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 2,650	百万円 64	百万円 109	百万円 91	円 銭 30.63
今回修正予想(B)	2,778	76	148	104	34.96
増減額(B-A)	128	12	38	12	-
増減率(%)	4.8	19.2	35.5	14.1	-
(ご参考) 前期実績(平成 25 年 3 月期)	2,891	43	27	11	3.76

(3) 修正の理由

①通期連結業績予想

当社の主力である非臨床試験事業につきましては、国内市場の成熟化に伴う価格競争の激化等により厳しい事業環境が続いておりましたが、iPS細胞関連で用途開発が期待される移植寛容型のカニクイザルの用途拡大やバイオ医薬品分野を睨んだマーモセット試験の導入、といった新たな分野の市場開発を中心とした顧客開発により受注を拡大し(前期比約13%増)、売上高の確保に努めてまいりました。その結果、前回予想の売上高を上回る見通しとなりました。

コスト面では連結子会社における原材料費・燃料費等の高騰に伴う施設のランニングコスト及び輸送費が増加し、営業利益につきましては前回予想を下回る見通しとなりました。

経常利益につきましては、主としてキャッシュフロー改善による借入金減少に伴う支払利息の減少により、前回予想を上回る見通しとなりました。

当期純利益につきましては、経常利益の増加に加えて、連結子会社から優先配当を受けたことに伴い、少数株主持分の控除が予想より減少したことにより、前回予想を上回る見通しとなりました。

②通期個別業績予想

売上高につきましては、連結業績の修正理由と同じであります。

営業利益につきましては売上高の増加に加えて、燃料費の高騰等によるコストの増加分を業務の効率化や在庫適正化及び販売管理費の絞込みにより吸収することができたことにより、前回予想を上回る見通しとなりました。

経常利益、当期純利益につきましては、営業利益の増加に加えて、キャッシュフロー改善に伴う借入金減少により支払利息が減少したことにより、前回予想を上回る見通しとなりました。

2. 配当予想の修正

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
前回予想	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 3.00	円 銭 3.00
今回修正予想	—	—	—	6.00	6.00
当期実績	—	0.00	—		
前期実績 (平成25年3月期)	—	0.00	—	3.00	3.00

修正の理由

当社は、株主の皆様への利益還元を経営上の最重要課題のひとつと考え、あわせて将来の事業展開に備え、経営体質強化と内部留保の充実を勘案しつつ、安定的な配当を行うことを基本方針としております。具体的には、配当性向の目標を連結当期純利益の20%以上としております。

上記の基本方針及び目標を踏まえ、平成26年3月期の業績予想において連結当期純利益が前回発表の計画よりも増加する見込みとなったことを受け、1株あたり3円と予想していた期末配当につきましては、普通配当を5円に増配するとともに、当社が設立40周年を迎えることから1円の記念配当を追加し、合計6円に修正させていただくことといたしました。

[業績予想に関する注意]

本業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上